

各 位

会 社 名 太平化学製品株式会社

 代表者名 代表取締役社長 門田 豊
 (コード番号・4223)

問合せ先 経営管理部長 坂田 昌繁

電 話 048 - 222 - 1122

業績予想の修正(連結及び個別)に関するお知らせ

平成27年2月5日付で公表いたしました平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の連結及び個別の業績予想の修正について下記のとおりお知らせいたします。

記

・業績予想の修正について

(1) 連結業績予想数値の修正

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,300	40	80	50	4.07
今回修正予想 (B)	5,220	55	80	20	1.63
増 減 額(B)－(A)	△ 80	15	0	△ 30	
増 減 率 (%)	△ 1.5	37.5	－	△ 60.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	5,089	△ 183	△ 117	△ 100	△ 8.20

(2) 個別業績予想数値の修正

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,290	80	50	4.07
今回修正予想 (B)	5,210	80	20	1.63
増 減 額(B)－(A)	△ 80	0	△ 30	
増 減 率 (%)	△ 1.5	－	△ 60.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	5,081	△ 114	△ 98	△ 8.05

(3) 修正の理由

1. 連結業績について

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、第3四半期に入り原油・ナフサの急落により、原燃料の先安観から受注が低調に推移したため、売上高は予想を下回ったものの、コスト削減効果に加え、低採算製品の販売を抑えたことにより、営業利益、経常利益は前回予想を概ね達成する見込みであります。一方、平成27年度税制改正(法人税実効税率の引き下げ及び欠損金繰越控除制度の縮減)に伴い、繰延税金資産の取り崩し等により当期純利益は前回予想を下回る見込みであります。

2. 個別業績について

個別業績の修正理由は、連結業績予想と同様であります。

以上